

5月1日（月）「こどもの日」

元気よく朝の挨拶をしましょう。おはようございます。

今日は5月5日「こどもの日」について話します。みなさんは、「こどもの日」について、どんなことを知っていますか。

- 1 祝日でお休み
- 2 こいのぼりや五月人形を飾る
- 3 かしわもちやちまきを食べる
- 4 しょうぶ湯に入る

などがあります。

ではなぜ、そのようになっているのでしょうか。

「こどもの日」は元となる行事が中国に伝わっていました。それが日本に伝わり、伝統行事となったそうです。

お休みの日と決まったのは昭和 23 年、今から 75 年前に決まりました。「こどもの幸せと、お母さんへの感謝の日」として制定されました。こいのぼりは、こいが滝をのぼって竜になり、竜が天に昇っていくという昔話から、「子供が立派に成長しますように」という願いがこめられています。五月人形は、兜（かぶと）や鎧（よろい）、刀（かたな）などを飾りますが、そういった物を飾って災いから身を守ることを願ったそうです。

かしわもちは柏というの木の葉でお餅を包みます。柏の木は新しい芽ができるまで葉を落とさないため、縁起の良い、めでたい木とされています。また、ちまきは、困難を避ける厄払いの力があるとされています。

しょうぶ湯とは、「ショウブ」という植物をお風呂に入れて入ります。ショウブという植物には独特の強い香りがあり悪い気をはらうと考えられ、お風呂で一緒に浸かる文化が誕生しました。

このように、「こどもの日」は「子供が元気に成長するように」という願いが込められています。もうすぐ5月5日となります。みなさんが、やさしく、そしてたくましく育っていくことを先生たちは願っています。

それでは、以上でお話を終わります。（礼）

